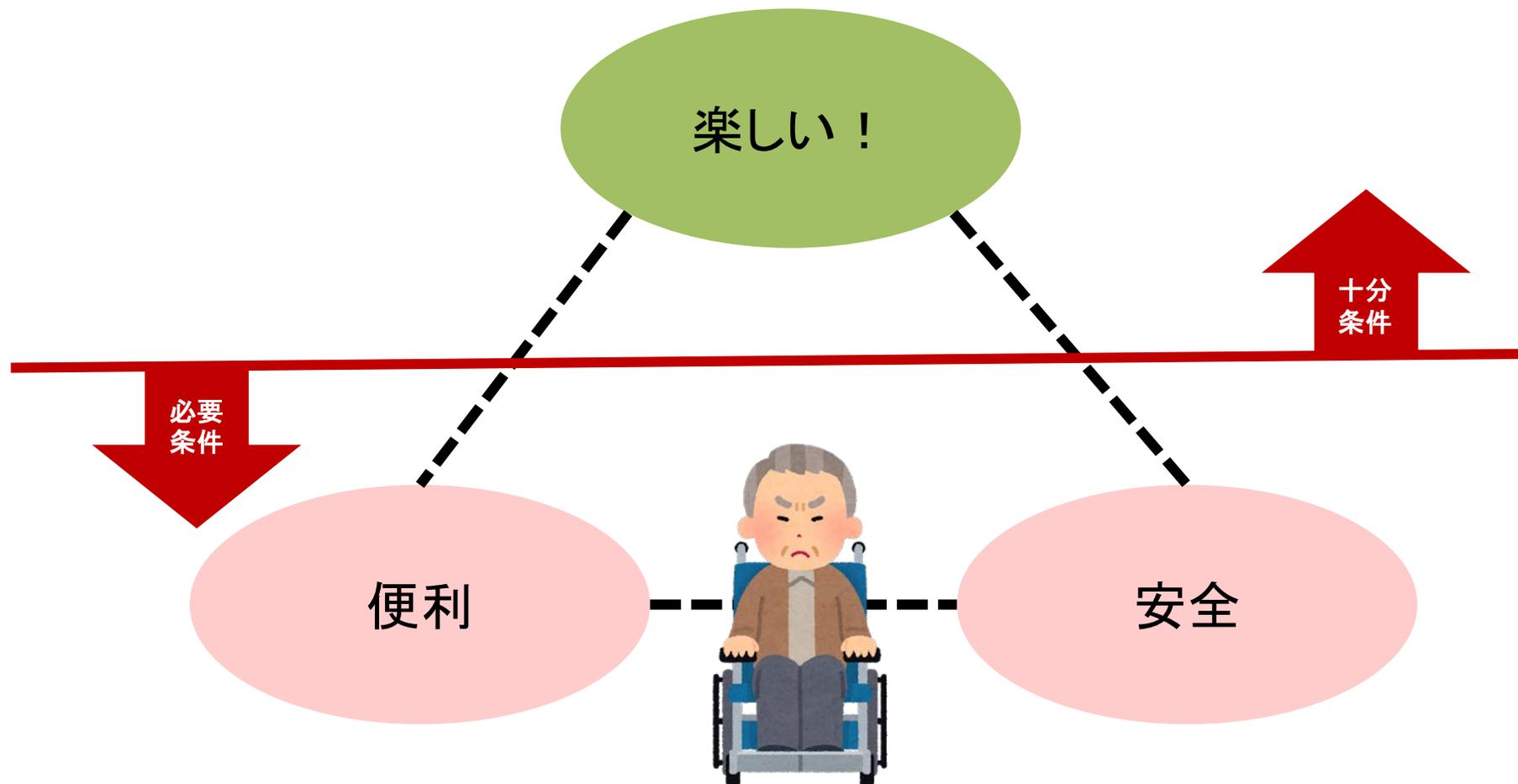


高齢者のモビリティについて

—いくつになっても、自分らしく過ごせるために—

株式会社メディヴァ

「モビリティ」は単なる移動手段ではない、はず



アメリカの事例: 高齢者コミュニティ The Villages (フロリダ)

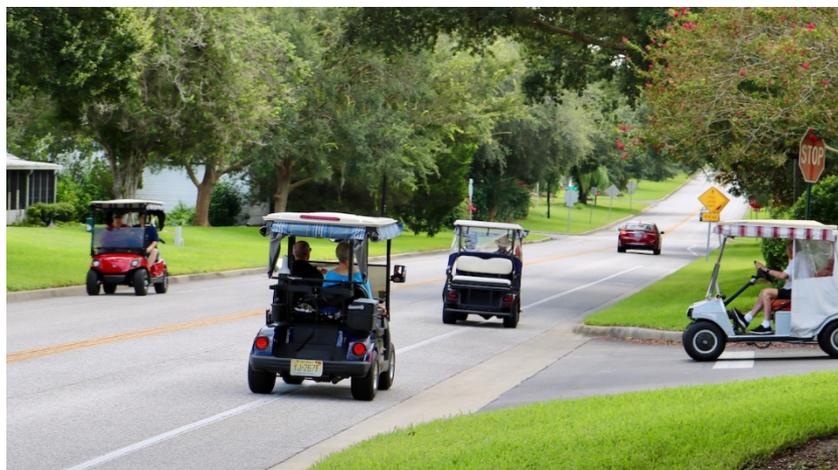


アメリカの事例: The Villages (フロリダ)の移動手段はゴルフカート

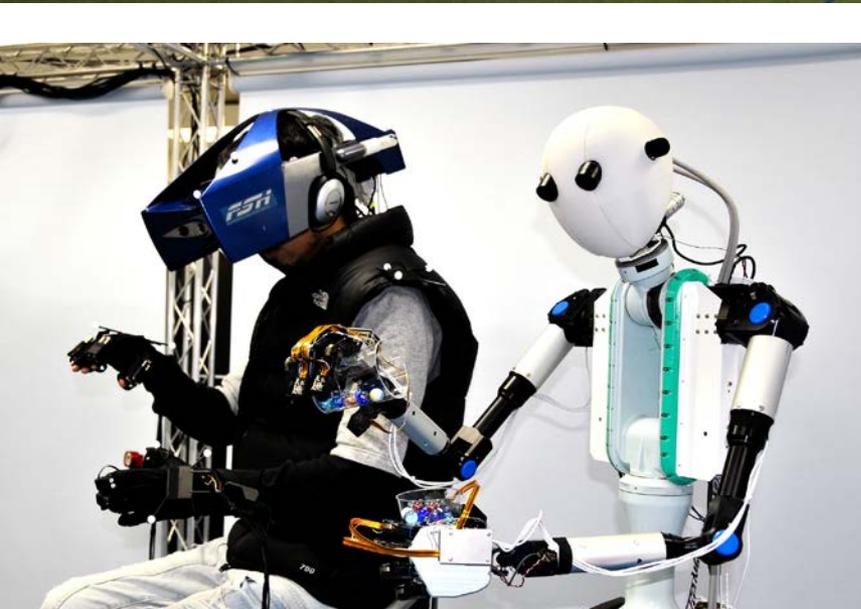
移動手段としてゴルフカートを活用(中速)

総数5500台

うち400台は自分のidentityを表すデコ・カート



中速ゆえの事故もあるが、それぞれが
思いを込めて楽しく乗っている



高齢化に伴う社会課題をテクノロジーで解決



ポジティブエイジング
デモデー

1月22日
14時~15時半
(ティータイム)

実験チーム
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Embodied Media ラボ
Positive Aging 研究チーム

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科「身体性メディア」プロジェクトは、人々が自身の身体を通して得る様々な経験を、記録・共有・拡張・創造する未来のメディアテクノロジーを創るための研究活動を行っています。見る、聞く、触れる。人と人、人とモノとのインタラクションにおける身体性を理解し操ることで、楽しさ、驚き、心地よさにつながる新たな身体的経験を生み出します。

Positive Aging 研究チームは、高齢者がポジティブなマインドで生活することを目指して活動しています。



「超人スポーツ」の車いすを転用するケース



「超人スポーツ」

人間の身体能力を補綴・拡張する人間拡張工学に基づき、人の身体能力を超える力を身につけ「人を超える」、あるいは年齢や障碍などの身体差により生じる「人と人のバリアを超え」、競い合う。

「スライドリフト」

電動アシスト全方向車椅子を用いて、ドリフト走行等のテクニックで競い合う車椅子レース。

「スライドリフト」車椅子を、介護用に転用(開発中)



動力は
取り外し可

小回りが効く
ので取り回し
しやすい

介護される
人も
する人も
楽しい



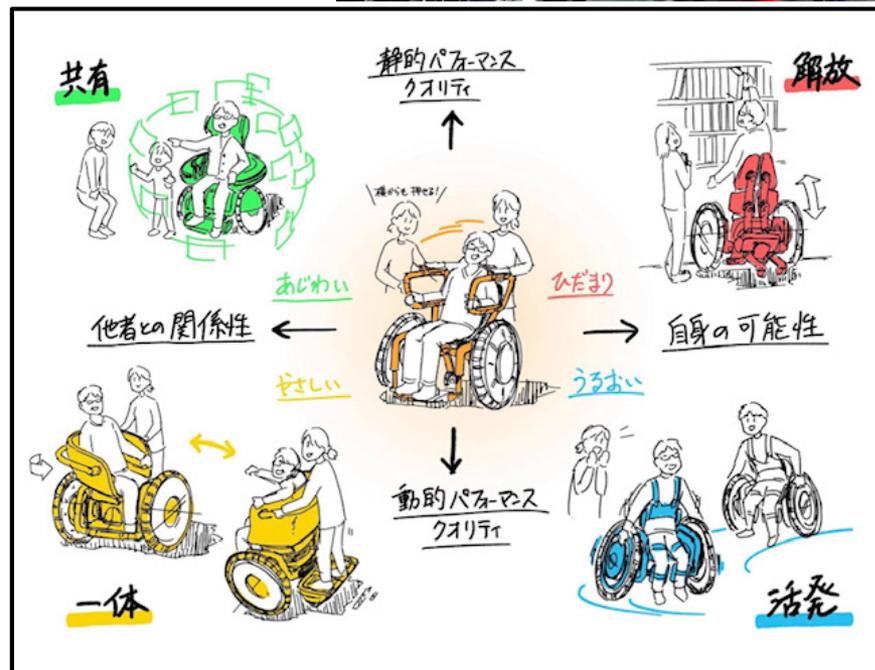
※大きさ、速さ、形状は開発途中
(小型、シートは身体状況に応じて後付け、低速を予定)

子供が奪い合う車椅子



夏祭りでお披露目したところ、
乗ってみたい子供の長蛇の列。

「デザイン」は重要



「超人スポーツ」等の競技と共に
拡げることにより、
「心のバリア」を解消。
使い方を提案。

要点(まとめ):開発に「ユーザーの声・視点」を!

